

「憲法九条を守るわかやま県民の会」 ニュース

NO.111 10.2.22 発行「憲法九条を守るわかやま県民の会」事務局

県地評 Tel 073-436-3520 Fax 073-436-3554 E-mail w-chihyo@naxnet.or.jp

9条破壊をねらう「国会法」改悪許すな！



JR和歌山駅前で9日宣伝

2月9日「憲法9条を守るわかやま県民の会」と和歌山市9条センターは11時からJR和歌山前で9日宣伝署名行動を行いました。3人がマイク宣伝にたち、それぞれ「与党3党の国会法改悪案は内閣法制局長官の答弁を禁止することにより、憲法9条の解釈を内閣主導でおこない、自衛隊の海外派兵、武力行使が出来るようにすることをねらっている」「憲法9条を持つ日本に米軍基地は要らない。普天間基地を無条件撤去させよう。」「9条を持つ国が核兵器廃絶の先頭に立てるよう世論を強めよう」と訴えました。この日は、参加した新婦人が核兵器廃絶署名も同時に行い、16人の参加で9条署名39筆、核廃絶署名50筆の計89筆の署名が集まりました。

田辺9条の会

第5回総会開催

1月30日 市民総合センター

第1部総会 活動計画と役員承認

本年度総会は15名とかなり少ない参加者でしたが、活動計画と役員承認をおこないました。活動計画では、

①5月開催予定の紀南9条ネットによる「ピースフェスティバル」（仮称）を成功させよう。

②小・中学校区を単位としたようなミニ9条の会を今年は2～3個つくることをめざそう。

③今年中に国内平和ツアー、来年度は海外平和ツアーを実現しよう。などを決めました。

第Ⅱ部 堺市民ミュージカルDVD

「炎の街より」鑑賞

堺市民が制作したミュージカル「炎の街より」。堺市にあった遊郭を舞台に、空襲のみならず、戦前の女性の置かれた状況、治安維持法、軍隊など、戦時中の状況をおこし、空襲をはさんで、今日の問題とも結んで、9条と平和をめぐる課題を問いかけるこの作品は、調査から芝居づくりまで、まさに、小学生から高齢者まで市民が結集した意欲作でした。DVDなので音声聞き取りにくいという難点はありましたが、「堺でこれだけの市民が参加してよくなされたなあと思いました。多くのひとの気持ちがひとつになった過程がわかるような舞台でした。田辺でも歴史の掘り起こしをして、こういうとりくみができたらいいなとおもいました」といった感想が寄せられています。

(たなべ9条通信より)

「憲法九条と日米安保体制」

日高2. 11 紀元節復活反対集会

2月10日(水)午後6時30分からの集会には、各労働組合や地域で活躍する憲法9条の会などから約50名が集まりました。

はじめに谷口幸男実行委員長があいさつ、その後、坂本文博氏が、「憲法九条と日米安保体制」についてその歴史的な問題や今日の課題にもふれながらお話下さいました。

旧安保条約は、アメリカの占領基地を米軍基地として使用するための協定で、現在の改訂安保条約は、自衛隊が米軍といっしょに戦争をする「共同対処」を明記した条約であるという話から、安保条約下の日本は本当に独立国？と問いかけ、安保条約六条に基づいて定められている日米地位協定についても、思いやり予算や米兵の犯罪等にもふれ、異常な日本の米軍への支出から日本の現状に触れて話されました。憲法九条と日米同盟は衝突する関係にあり、九条の破棄を言い出したのはアメリカでした。そして、安保条約は、日本国民のくらしと財政に大きな影響を与えていることも話されました。

安保50年の今年にふさわしい内容の集会でした。

和教組日高支部 楠本 誠司

「命に国境はない～イラク戦争とは何だったのか？～」

高遠菜穂子氏が講演

2月18日(木)夜、和歌山市のプラザホープ4Fホールで、憲法9条を守る和歌山弁護士会の主催の講演会が行われ、「命に国境はない～イラク戦争とは何だったのか」の演

題で、イラク支援ボランティアに参加した高遠菜穂子氏が講演しました。



少なくとも15万人もの人々の命が失われ、大量破壊兵器は見つからず開戦の理由を失ったイラク戦争で、アメリカの攻撃を支持した日本政府の選択は正しかったのか。日本国憲法が禁止する戦争への負担を繰り返さないためには、日本政府によるイラク戦争支持・支援の是非の検証が必要と前置きし、自らイラクへ赴き支援活動中に見たイラク戦争の実態を生々しく語りました。

2004年11月にはファルージャで米軍による虐殺が起きた。米軍司令官の「動くものはすべて撃て。14歳以上はすべてテロリストと見なせ。」との指令の下で、1週間で6000人以上のイラクの人々が虐殺された。もともとファルージャでは米軍による市民への無差別発砲や略奪にたいして住民ぐるみのレジスタンスが発生していた。これをすべてテロリストとして米軍が攻撃したのだ。多数の民間人が殺されても、テレビへ出るときには「武装勢力」にされる。

クエートからイラクへ航空自衛隊が輸送したものは、人道支援物資はほんのわずかで、大多数は軍事物資と武装米兵であることが明らかになった。ファルージャ攻撃の時、航空自衛隊の輸送も増えたそうである。日本の自衛隊が虐殺に荷担したことになる。

2008年の名古屋高裁判決で「自衛隊のイラク派兵は憲法9条違反」との判決が思い出された。

5月憲法集会

日時 5月9日(日)14時開会

会場 プラザホープ4階ホール

講師 小沢隆一

「憲法9条と日米安保体制」(仮題)

東京慈恵会医科大学教授
(憲法学・政治学)

「9条の会」事務局メンバー